

MAWALEE — COMMUNITY-BASED CARE 小規模多機能ホーム マワリー / 株式会社ケアハート

MINUTES OF MEETING

第 2 回 運営推進会議 議事録

開催日時	令和 8 年 8 月 17 日（月）14:00 — 15:00（所要時間 約 60 分）	開催場所	小規模多機能ホーム マワリー 地域交流室
進 行	原田 理恵子（管理者）	記 録	原田 理恵子（管理者）
出席者（構成員）	- ご利用者様代表 - ご家族様代表 - 民生委員 - 三原市役所 高齢者福祉課 - 東部高齢者相談センター どりいむ（地域包括支援センター） ※ 個人情報保護の観点から、所属・役職のみの表記としております		
	- 原田 理恵子（管理者） - 田村 詠子（介護支援専門員）		

1 議 題

①	開会・出席者紹介
②	運営状況報告（6 月・7 月 ／ KPI 分析）
③	地域交流・公式 LINE 運用実績
④	前回課題の対応状況・下半期方針
⑤	意見交換
⑥	閉会・次回開催について

2 議事の概要

▶ （1）開会・会議の趣旨

第 2 回運営推進会議として、開設（4 月 19 日）から 4 か月が経過した 6 月・7 月の運営状況を、前回ご指摘いただいた KPI（介護度別・住所地別・年齢構成・医療ニーズ・利用パターン等）を用いて報告。出席者全員の自己紹介を行ったうえで議事に入った。

▶ （2）運営状況報告（6 月・7 月）

- ご契約者数：**22 名**（定員 29 名・稼働率 **72.4%**） ／ 平均介護度 **2.5**・平均年齢 **87.9 歳**
- 7 月実績：通い 延べ **436 名**（増）・泊り 延べ **195 名**（減）・訪問 **169 件**（大幅増） ／ 複合サービス利用 **19 名（86.4%）** ※ 月次の詳細は次ページ参照

▶ （3）地域交流・地域貢献 ／ 情報発信

- 6 月・7 月に **6 回** の行事を実施し、延べ **90 名以上** が参加（七夕の活動、絵画展示、カフェイベント、風鈴祭りへの外出、夏休み勉強会、クッキング体験）
- 第 1 回おまわり夏祭りに如水館高等学校サッカー部が終日ボランティア参加。クリーン活動は毎月 2 回継続。公式 LINE 友だち **50 名**・配信 8 回

通い延べ **436 名** ・泊り延べ 195 名 ・訪問 **169 件** （7 月実績）。契約者 22 名 ・稼働率 72.4%、平均介護度 2.5 ・平均年齢 87.9 歳。

項 目	6 月	7 月	増 減	備 考
通い 延べ利用者数	403 名	436 名	+ 8.2%	増加傾向。日中の活動・レクを毎日提供
泊り 延べ利用者数	226 名	195 名	− 13.7%	減少。在宅生活の継続を重視した支援の結果
訪問 件数	92 件	169 件	+ 83.7%	大幅増。アセスメントを重視した訪問の強化
契約者数 / 稼働率	24 名	22 名 / 72.4%	− 2 名	定員 29 名。施設入所 1 名 ・入院 1 名により減
平均介護度 / 平均年齢	2.5	2.5 / 87.9 歳	変動なし	要介護 2 が 9 名で最多。85～94 歳が 12 名
ヒヤリハット / インシデント	7 件 / 0 件	1 件 / 0 件	大幅減	重篤な事故はゼロ。週次で振り返りを実施
医療ニーズ / 複合利用	19 名 / 86.4%		全 22 名中	人工透析 2 名 ・人工肛門 1 名。複数サービスを併用

▶ （4）前回課題の対応状況

- 足の運動器具の設置 … **完了**（ローラーペダル・フットマッサージャー導入）
- 詳細データの提示 … **本資料にて対応**
- 案内表示の改善 … **継続検討中**
- 町内会との連携 … **最も大きな課題**と認識

▶ （5）下半期の運営方針・数値目標

- 方針：①訪問のアセスメント重視 ②健康管理の徹底（熱中症・脱水予防）
③服薬支援と感染症対策 ④地域とのつながり作り（最重点）
- 目標：ご利用者 **27 名** ・稼働率 **93%** ・LINE 友だち **200 名**
地域交流室の開放 **月 2 回以上**

3 意見交換・質疑応答（主なやりとり）

区 分		内 容
Q1	質問	Q インシデント・事故の状況、警察へ連絡が必要な事案はあったか A 通院・治療が必要なレベルをインシデントと定義。今回は特段の大きな事案はなし。
Q2	質問	Q 要支援の方の利用がゼロだが、ご相談自体はあったのか（包括支援センター） A 6・7 月のご相談はなし。以前に数件あり、短期利用をご案内している。
Q3	ご意見	Q ご利用されて感じられたこと（ご利用者代表） A 送迎や日々の支援に感謝のお言葉。看護職員の親身な対応を高くご評価。
Q4	ご意見	Q 冷蔵庫の奥の食材が傷んでいないか不安がある A 訪問の一環として職員が冷蔵庫のチェック・清掃、買い物同行を実施する。
Q5	要望	Q 催しのご案内をもっと早めにいただきたい（参加意欲あり） A 今後は早めの告知を徹底。公式 LINE・チラシを併用して周知する。
Q6	要望	Q 交流室でサロン・介護予防教室を開催させてほしい（包括支援センター） A ぜひご活用いただきたい。詳細は別途ご相談のうえ連携して進める。

4 決定事項・次の段取り（アクションアイテム）

No.	項 目	内 容	担当 / 期日
01	お茶会「マワリーサロン」の開催	9 月に開催。ご利用者・地域住民が無料で参加でき、以降も月 1 回程度の定期開催を予定	事業所 / 9 月
02	クリーン活動の継続実施	毎月 2 回・8:00～8:30 に地域の美化活動を継続。朝の挨拶を通じた関係づくりも兼ねる	事業所 / 継続対応
03	冷蔵庫チェック・清掃、買い物同行	訪問時に食材の鮮度確認と清掃を実施。買い物同行も併せて継続支援する	スタッフ / 継続対応
04	催し・会議の早期告知の徹底	公式 LINE・チラシを併用し行事案内を早期にお届け。次回会議の日程案内も早めに送付	主催 / 継続対応
05	交流室でのサロン・介護予防教室	地域交流室を活用した開催を検討し、事業所と連携して進める	包括 / 継続協議